

学術情報基盤オープンフォーラム2025

学認LMSの実践事例とデータ活用最前線 「京都大学における学認LMS活用事例紹介」

京都大学 情報部情報基盤課 セキュリティ対策掛

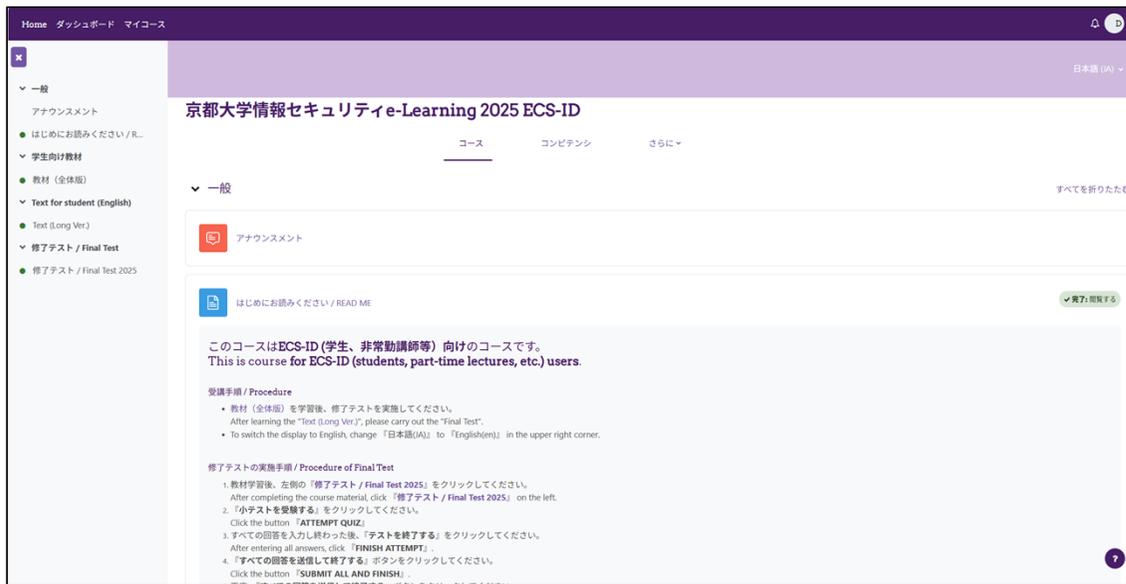
石井 良和

KYOTO UNIVERSITY

京
都
大
学



京都大学 情報セキュリティ e-Learning



- 学認LMSで「京都大学情報セキュリティe-Learning」（自機関限定コース）の提供
- 京都大学の構成員を対象
- 情報や情報技術の安全で効果的な利用
- 情報セキュリティに関する基礎的な知識を学習
- 学生、教職員等全ての構成員に毎年度情報セキュリティe-Learningを毎年度受講義務

学認LMS導入の経緯

- 以前は京都大学独自のe-Learning型研修を支援する全学サービスの研修用LMSで実施
- 従来の研修用LMSの提供終了
 - 学認LMSが代替となるか情報セキュリティe-Learningで検証
- 全学的な情報セキュリティ教育の必要性
- 代替プラットフォームとして学認LMSを選定

導入の流れ

検討を開始してから、約半年で学認LMSへ移行完了

- 2024年7月
 - 検討開始
 - 「自機関限定コース作成機能」利用申請
 - 既存コンテンツを移植
 - 動作確認
 - 教材配布、小テスト、受講状況の取得
- 2025年3月
 - コースセットアップ（2コース）、教材アップロード、小テスト作成
 - ウェブサイト等（説明、利用マニュアル）を学認LMS向けに修正
- 2025年4月
 - 公開して利用開始

コース画面

Home ダッシュボード マイコース

security-ecs-2025 / 教材 (全体版)

教材 (全体版)

完了: 閲覧する

学生向け情報セキュリティe-Learning (全体版) です。
教材の学習後、修了テストを実施してください。

【更新履歴】

- 2025/05/16 61ページ目、サポート終了日一覧の修正 (Adobe Acrobat 2020のサポート期間延長に伴い「2025/11」に修正)

1 / 63

京都大学における 情報システム利用規則とセキュリティ

京都大学セキュリティ教材

Home ダッシュボード マイコース

GakuNin LMS

security-ecs-2025 / 修了テスト / Final Test 2025

修了テスト / Final Test 2025

戻る

情報
や 問題にフラグ
を付ける

ECS-ID (学生、非常勤職員等) 向けの修了テストです。
SPS-ID (教職員等) 利用者が受講しても修了扱いになりませんのでご注意ください。

This final test is for ECS-ID (students, part-time lectures) users.
Please note that SPS-ID (faculty, staff, etc.) users will not be considered to have completed the test even if they take it.

問題1
未解答
最大得点 9.00
や 問題にフラグ
を付ける

IDとパスワードの管理に関して、以下のうち、最も適切な行動はどれでしょうか？
Which of the following is the most appropriate action regarding ID and password management?

- A. 同じパスワードを複数のWebサイトで使いまわす。
Reusing the same password on multiple websites
- B. パスワードとして辞書にのっているような単語を使用する。
Using dictionary words as passwords
- C. パスワードを長く複雑に作成する。
Creating long and complex passwords

小テストナビゲーション

i	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	i	12
13	14	15	16	17		

テストを終了する ...

コース構成

- 教材：PDF資料＋修了テスト
- 学生向け、教職員向け
- 内容：
 - 情報セキュリティの基礎
 - 情報セキュリティポリシーの説明
 - 情報格付け（教職員のみ）
 - 連絡・報告について
 - 事例紹介

大学独自の情報

3. 利用方法

手順	説明	画面 (クリックで拡大します)		
1	<p>■ECS-ID (学生、非常勤講師等) の方</p> <p>以下のボタンをクリックし、「京都大学情報セキュリティe-Learning 2025 ECS-ID」ページを開きます。</p>  <p>(クリックすると、新しいタブで開きます)</p> <p>■SPS-ID (教職員等) の方</p> <p>以下のボタンをクリックし、「京都大学情報セキュリティe-Learning 2025 SPS-ID」ページを開きます。</p>  <p>(クリックすると、新しいタブで開きます)</p>		<p>3 所属機関の学内認証システム画面で「京都大学」を選択して[選択]ボタンをクリックします。</p> <p>4 京都大学の統合認証画面が表示されるので、全学アカウントでログインします。 *サービスに送信される情報画面が表示されたら、[同意]ボタンをクリック</p> <p>5 「私を登録する」ボタンをクリックします。(初回のみ)</p>	  
2	<p>学認LMS自己登録 (NII) の[続ける]ボタンをクリックします。(初回のみ)</p>		<p>6 情報セキュリティe-Learningのコースが表示されます。 表示されているコースがECS-ID向けかSPS-ID向けかを確認し、違っている場合は手順1からやり直してください。</p>	

身分に応じて、受講する e-Learning のリンクをクリック

活用して良かった点

- 自機関限定コース
 - 京都大学独自の情報
 - 京都大学構成員に限定して公開
- プラットフォームを自前で用意しなくてよい
- ベースがmoodleなので情報が豊富

工夫した点

- 学内の様々なe-Learningの受講状況が確認できるe-Learningポータルとの連携（自機関限定コース 受講履歴取得APIを活用）

京都大学 e-Learning ポータル

複数のECS-ID/SPS-IDをお持ちの場合は、ログイン中のIDの受講状況のみが表示されています。
各e-Learning研修の受講状況は一日一回深夜に更新しています。

「受講データ更新日時」以降に受講された研修の受講状況はまだ反映されていません。

最終受講状況

全受講履歴

各研修は対象 e-Learning 研修のリンクより受講してください。

必須研修

対象 e-Learning 研修	対象者補足情報	実施期間	最終受講日	受講データ更新日時	受講状況	問い合わせ
情報セキュリティ(教職員等)(2025)	案内 全教職員	2025/04/01 ~	-	2025/06/17 01:00	未受講	情報部 策掛

課題と対応

- 間違ってコース登録してしまう
 - 登録キー？
 - 同じ機関の中でも登録可能なコースを制限できないか
- 一つのコースに対して管理者が一人
 - 俗人化
 - 複数の管理者を設定できないか
- コース作成者のみ受講状況の取得ができる
 - コース毎に受講状況の取得が可能な管理者を設定できないか